

40年前	昭	昭41年 昭40年 昭39年 昭36年	いわき地方の5市4町5村が集まって「いわき市」ができる 小名浜の港が大きくなり商港となる いわきが新産業都市になる 常磐共同火力発電所ができる	昭43年 昭38年 昭33年	国道49号ができる 常磐線(平～上野)が電化される 常磐線(平～上野)にディーゼルカーがとおるようになる	昭45年	福島中央テレビが放送をはじめる 昭38年 昭28年 昭28年	福島テレビが放送をはじめる NHK テレビが放送をはじめる ラジオ福島ができる
50年前	和	昭25年 昭22年 昭19年	いわき共立病院が内郷にできる 新しい中学校が各地にできる 呉羽化学勿来工場ができる	昭18年	常磐交通自動車会社ができる	昭20年	平が空しゆうにあう せんそうがはげしくなる	
60年前	大	明43年	品川白煉瓦湯本工場ができる	大正6年	平でハイヤーがはじめられた	昭和8年	湯本町に水道が引かれる	
70年前	正	明43年	小名浜測候所ができる	大正6年	磐越東線(平～郡山)がしかれた	大正10年	平町に水道が引かれる	
80年前	明	明41年	いわきセメント四倉工場ができる	明30年	常磐線(そのころは海岸鉄道といわれていた)がしかれた	明治42年	電話が平ではじめて使われる	
90年前	明	明32年	塩屋崎灯台ができる	明治16年	そのころの石炭は牛や馬につんで、小名浜へ送った	明治40年	いわきにも自転車が見られる 電とうが平にはじめてつく	
100年前	治	明22年	各地の小さな村が集まって、小名浜町、四倉町、豊間村など三十八の村ができる	明治16年		明治39年	平が大火事になる	
110年前	治	明16年	平町ができる			明治32年	いわきの各地に大こう水がある	
120年前	治	明6年	各地に小学校がつくられる			明治16年	いわき炭坑会社ができ、石炭を大きぼにほりだす	
130年前	治		いわき市には小さな村がたくさん集まっていた			明治5年	平にゆうびん局ができる	